

AICHI GAKUIN UNIVERSITY NEWSLETTER



AG PRESS

大学だより

2024

6

愛学INFORMATION / AG NEWS FILE / 愛知学院創立150周年

vol.227



新年度挨拶

シューカツの現場から
「就活する子どもとの関わり方」

location: 1号館へ向かう通路(日進キャンパス)



2026年、愛知学院は創立150年を迎えます。



言 | 頭 | 卷

新年度挨拶



自分が信頼できる“自分”を育め

愛知学院大学 学長
愛知学院大学短期大学部 学長

木村 文輝

見たことのない新しい
愛知学院大学を創るため
ともに挑戦を続けたい

4月から始まった新しい生活に、皆さんは慣れ
てきた頃でしょうか。かくいう私も、本年度から
学長に就任し、日々新しい挑戦を続けています。
さて、すでにご承知のとおり、愛知学院大学
は高度な学問教育とともに、仏教の教えにもと
づく人間教育を目指しています。この仏教を開
かれたお釈迦さまは、生まれた直後に「天上天下
唯我独尊」と語られたと伝えられています。本
当のこととは思えませんが、この伝説が二千年に
わたって大切に伝えられてきたということは、そ
こに大切な教えが示されていると人々が考えた
からではないでしょうか。残念ながら、この言葉

の正確な意味はわかりません。しかし、私はそれ
を次のように考えています。

私たちは日々の生活の中で、さまざまな選択
を迫られます。とりわけ、それが人生を賭けた
選択ともなれば、慎重にならざるを得ません。
多くの人に相談することもあるでしょう。しか
し、最後に決断するのは自分自身です。その決
断によって、どのような結末を迎えようとも、そ
のあと始末ができるのも自分しかないのです。
つまり、天の上にも天の下にも、最後に頼るべき
は自分しかない。私にとっては、「ただ我独り尊
い」のです。だからこそ、どのような状況にあろ
うとも、自分自身が信頼できる自分を日頃から
育んでおかなければなりません。

そのために、いま、何をなすべきかを学びなが
ら行動し、行動しながら学び続ける。そうした
行いと学びの支え合いが、本学の建学の精神で
ある「行学一体」です。ただし、自らが的確な判
断を下し、一生懸命努力をしても、他者に邪魔
をされたら努力は実りません。そうならないため
にも、私自身が常に他者のことを思い、他者を
支えることが大切です。その結果、他者から支
えてもらうこともできるでしょう。この支え合い
が、もう一つの建学の精神である「報恩感謝」で
す。この二つの建学の精神を道しるべとして、是
非、自分自身を育んでいただきたいと思っています。
そのためには、皆さんの力とアイデアで、愛知
学院大学を一層、楽しく充実した大学にしてく
ださい。愛知学院は再来年に創立150年を迎
えます。見たこともない新しい愛知学院大学を
創るために、失敗を恐れることなく夢を語り、
立ち止まらずに一歩ずつ、皆さんとともに挑戦を
続けていきたいと願っています。



終わりに 「行学一体、報恩感謝」

学校法人愛知学院 理事長

小島 泰道

皆さん、ご入学おめでとございます。理事長の小島泰道でございます。我が愛知学院の教育理念は「行学一体、報恩感謝」です。この理念についてお話をいたします。

「行学一体」…文字通り、「学び」無き「行」は時間の無駄遣いとなりますし、「行」の伴わない「学び」は机上の空論です。怠惰に過ごさない事は勿論のこと、今後、社会で経験される様々な逆境や失敗の最中においても歩みを止めずそこから学ぶ事を忘れないでいただきたいと思えます。

「地」によって倒れるものは必ず地に力なり」とは道元禪師のお言葉です。その逆境や失敗から目を逸らし歩みを止めれば立ち上がることは出来ませんし、成功には至りません。

「報恩感謝」とは、私たちの存在は全てのご縁のおかげである事を忘れないという意味です。これから皆さんは、高校生の頃以上に保護者の手を借りずに自身で物事を判断し、生活されていくかと思えます。また、保護者の庇護から離れ、成長し、ともず

ると自分の力だけで生きているような錯覚に陥り「自立」した気になるかもしれません。しかしそれは全くの勘違いであると予め申し上げておきます。「自立」とは、誰の力も借りず自分の力だけで生きていることではありません。それは「自立」ではなく「孤立」であり人として弱くなることを指します。本当に強い人間の「自立」とは、自分の弱さから目を逸らさず直視し、思い切つて他者の力が借りられるという事です。「自（みずか）ら立つ」のではなく、より多くの仲間を作り相互に支え合うことにより「自（おのず）から立つ」事ができるよう、「報恩感謝」の心を忘れないでください。

苦況から目を逸らしてはいけません、どうしようもなくなくなった時には一人であんなにかしようにせず思い切つて保護者・教職員等に頼れる「強さ」を身につけていきましょう。

「行学一体、報恩感謝」とは永遠のテーマなのです。

入学生の皆さんには、大学生活の貴重な時間を過ごすに当たり本学をお選びいただき、衷心より感謝致します。



令和6年度の愛知学院大学後援会会長を務めさせていただきます浅田浩司です。約11000名の学生支援を執り行う重責に身の引き締まる思いです。

本学後援会では、学生一人ひとりの大学生活が実り多きものになるよう、教育環境充実のための各種助成を行っております。

また、日頃は大学に足を運ぶ機会の少ない保護者の方に学生生活を知つていただく機会として、全国各地で保護者懇談会を開催しております。今年も9月から10月の開催を予定しておりますので、日頃から気にかけておられるご子女の大学生活等について理解を深め、話し合う場としてご活用いただければ幸いです。

昨年まで数年間、中止や規模を縮小した催しが、少しずつ開催されるようになってきました。今年度はさらに、学生一人ひとりが輝いていけるように、保護者の目線によるさまざまな後援会活動を、大学と手を取り合つて着

保護者の目線で
学生一人ひとりを
輝かせる後援会活動に
取り組みます

愛知学院大学後援会 会長

浅田 浩司

実に行つてまいりたいと思えます。愛知学院大学の伝統ある活動の益々の発展に全力を尽くす所存ですので、何卒ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度 大学後援会本部役員（敬称略）

会長	浅田 浩司
副会長	両角 一彦
〃	柴田 敬介
〃	柴田 軒吾
支部活動部長	品田 浩之
総務部長	太田 誠一
厚生部長	出口 知矢
施設部長	三輪 彦詞
教育部長	佐藤 由宜
課外活動部長	村手 誠
会計	久野 祥毅
〃	陣矢 幸司
会計監査	竹内 宗
〃	加藤 貴恭
〃	山原 茂光
参与	中村 康成

新しくなった WebCampusは お使いいただきましたか？

学内システム「WebCampus」が、学生にも保護者の皆様にもより使いやすく便利になりました。成績の確認など、新しい機能も充実。またスマートフォンアプリ「UNIPA」なら、2回目以降はログインも必要ありません。ぜひこの機会にご活用ください。



WebCampusでできること

時間割の確認

成績の確認

シラバス検索・照会

大学からの大切な
情報をお知らせ

後援会情報の確認



保護者にとっての 安心ポイント

Web上で
成績を
確認できますお子様の授業の
履修情報が
わかります

まだログインがお済みでない方は、ぜひご利用ください。

4月に新しい「ログインURL」「ユーザーID」「パスワード」をご案内しています。

ユーザーID hg学籍番号

パスワード ご子息・ご息女の生年月日(8桁)
※ご子息・ご息女の生年月日が2001年1月1日の場合は「20010101」です。

個人情報保護のため、推測されづらいパスワードへ変更をお願いいたします。

初回ログイン時には、メールアドレスの登録をお願いいたします。そのほかメールを受信する時刻の指定(任意)が可能です。

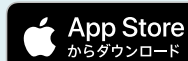
IDとパスワードを
入力してログイン

アプリなら2回目以降はログイン不要！ WebCampusアプリ「UNIPA」

2回目以降は、アプリ起動時に「URL」
「ユーザーID」「パスワード」の入力は不要です。

UNIPAアプリの
ダウンロードはこちら

iPhoneをご利用の方



Androidをご利用の方



成績の通知方法が 変わります。

これまで郵送でお届けしていました成績通知書は、今年度からWebCampusでの照会となります。成績発表後は場所や時間を選ばずすぐにご確認いただけます。またセキュリティ対策を施したシステムで、成績情報の安全性を確保しています。

まだログインがお済みでない方は、操作方法などお早目にご確認ください。



シューカツの現場から

VOL.29

MESSAGE FROM CAREER CENTER

今回のお題

就活する子どもとの関わり方

長期にわたる就職活動。その過程で子どもたちは、進路選択における迷い、不安や焦りなどによる精神的ストレス、身体の疲労、金銭的な負担など、さまざまな壁に直面するはずです。そんなとき、一番近くにいる保護者は何をすべきか、何をすべきか、何をすべきか。就活を頑張る我が子との適切な関わり方を考えてみましょう。

OK!

子どもがよろこぶ

保護者の関わり

> 子どもは案外、保護者を精神的な支えにしている。*

就職活動を終えた学生に対するアンケートで「保護者の関わりでよかったことがあった」という回答の詳細を見ると、「肯定」「見守り」「支え」などのキーワードが浮かび上がります。大変な思いをしている子どもにとって、保護者の存在は案外大きなものなのです。子どもの意思や行動を否定せず、さりげなくサポートすることが、より良い就職活動につながりそうです。



あなたには、実はこんないいところがある。

◎ 保護者ならではの視点で自信を与える

ほかの就活生と自分を比べて自信・やる気をなくすと、就職活動はうまくいきません。悩んでいるようなら、保護者だからこそわかるお子さんの長所を具体的に伝えてあげましょう。自己分析や面接のアピールポイントになる上、新たな気づきが自信につながるはずです。



この会社、けっこう業績いいらしいよ。

◎ 企業研究に役立つ情報提供

社会経験に乏しい学生にとって、企業の分析や見極めは難しいもの。大人の視点で、有益な情報提供やアドバイスをお願いします。お子さんが志望する業界・企業の特徴や基礎知識、最新ニュース、本人が探しきれないおすすめ企業などの情報を集め、教えてあげてください。



新入社員の頃、目標達成したときはうれしかったな。

◎ 社会人の先輩としての体験談

保護者は一番身近な先輩社会人。仕事のやりがい、苦労、仕事観など、ご自身の新人時代を振り返って体験談を話してみてください。仕事や働き方をイメージしやすく、前向きに就職活動に取り組めると思っています。また、社会人マナーや身だしなみのアドバイスもお願いします。

NG

子どもが困る

保護者のアクション

> 否定・誰かとの比較・意見の押し付けは嫌がられる。*

価値観の押し付けや子どもの意見・行動を否定することはNG。ネガティブな働きかけはストレスになります。また、弱音や愚痴を吐いているときは「話を聞いてほしい」というサインであることも。黙って聞いてあげるだけで、すっきりして元気になるかもしれません。そしてお子さんの考えや頑張りを認めた上で、「自分はこの思うよ」と前向きなメッセージを伝えましょう。



聞いたことない会社だね。

× 子どもの意思・選択の否定

自分で決めた将来像や志望企業を頭ごなしに否定されたら、子どもはいたたまれません。まずはお子さんの選択理由や考えを聞き、不安要素や反対意見があれば理由と一緒に提示しましょう。知らない会社ならきちんと調べて見解を示しつつ、一緒に考える姿勢が大切です。



営業職はノルマが大変だよ。

× マイナスイメージの植え付け

社会人の先輩として体験談を語るのはいいいことですが、悪い面の強調や後ろ向きな助言は足を引っ張ることになりかねません。良い面・悪い面の両方を話してあげてください。特に「困難を乗り越え社会人として成長した」という保護者自身のエピソードは、心に響くはずです。



自分でなんとかするだろう。

× 就職活動に対して無関心

就職活動が長引くと、お子さんの心理状態は不安定になるものです。「子どもの人生だから」と突き放さず、様子を常に気にかけて積極的なコミュニケーションを心がけてください。「頑張ってるね」「何かできることはある？」など、応援する気持ちを言葉にしましょう。

* アンケート「保護者との関わりでよかったこと(複数回答)」より抜粋※ 大学生_就職活動経験者 出典:就職みらい研究所「就職プロセス調査 2024年卒 2023年12月1日時点」

24卒 就活速報

愛知学院大学は今年も高い就職率を実現！ /

● 2024年3月卒業生 就職実績(文系学部)

希望者就職率 **98.3%** ^{0.1p↑}※
希望者就職率 = 正社員(公務員)就職者数 / 就職希望者数

実就職率 **91.9%** ^{0.1p↑}※
実就職率 = 正社員(公務員)就職者数 / 卒業者数(進学除く)

公務員試験合格者数 **191名**
※ 昨年比

主な就職先は
こちらから
ご覧いただけます



TOPICS

02

日進市長より、産官学連携講座の
「観光SDGs修了認定書」が授与されました

5月10日(金)、日進市役所にて「観光SDGs修了認定書」授与式が執りおこなわれました。本学と日進市などによる産官学連携講座で優秀な成績を取めた学生を認定したもので、文学部グローバル英語学科の学生5名が修了認定書を受け取りました。2018年に始まった講座では、にしん観光まちづくり協会相談役を務める文学部・松岡昌幸教授、近藤裕貴日進市長、企業担当者などが観光政策論や産業観光について指導し、学生たちは観光SDGsをテーマに独自の施策を企画・提案。近藤市長は「毎年レベルアップしている」と高く評価しました。授与式の様子は、中日新聞に掲載されました。



【観光SDGs修了認定書を授与された学生】
林 佑里さん(3年生)／伊藤美沙希さん(3年生)／田中日彩さん(2年生)／杉浦 愛吏さん(2年生)／鳥居 理彩さん(2年生)

TOPICS

01

令和6年度入学式を挙行しました

4月1日(月)、桜満開の中、令和6年度入学式を日進キャンパス100周年記念講堂にて挙行。学部生、大学院生含め約2700名が、新入生として愛知学院大学にて新たな生活をスタートさせました。式典は、4月より学長に就任した木村文輝学長による式辞に始まり、新入生代表による答辞で締めくくられました。

式典後には、新入生歓迎セレモニーを開催。和太鼓クラブAGU丸座、書道部、よさこいサークル常笑、チアリーダーイング部による圧巻のパフォーマンスと約100名の在学生による力強い応援歌の合唱にて、入学を祝いました。新入生ならびにご家族の皆様には、ご入学を心よりお慶び申し上げます。



TOPICS

04

経営学部の学生らによるベンチャー企業が
Japan Business Design & Action Award
地域活性化賞を受賞

3月14日(木)、「第10回 Japan Business Design & Action Award 2023-2024」に、本学のゼミ発ベンチャー株式会社Unikeeの今あゆみさん(経営学部1年)、坂見成さん、杉浦元紀さん(いずれも経営学部4年)が出場し、Japan地域活性化賞(3位相当)を受賞しました。北海道から沖縄まで全国12会場での予選を勝ち抜いた15チームが、ビジネスモデルのアイデアを競い合った大会。本学チームは、2023年7月から愛知県を中心とした中学・高校15校、約680人の生徒にデザイン思考ワークショップを実施してきた実績や動画コンテンツの開発、愛知県をアントレプレナーシップ教育で盛り上げることを発表し、事業の実現可能性が評価されました。会社の今後の活動に注目が集まります。

※学年は受賞当時

TOPICS

03

大学スポーツ協会

「UNIVAS AWARDS 2023-24」において
大学・個人それぞれが各部門で受賞

3月11日(月)、品川インターシティホールにて開催された大学スポーツ協会(UNIVAS)主催「UNIVAS AWARDS 2023-24」において、本学のスポーツ振興室の取り組みがKEEアドバンス賞「学修支援に関する優秀な取組賞」部門で最優秀賞を受賞。また「ルーキー・オブ・ザ・イヤー」部門で、村山謙さん(相模部所属・法学部現代社会法学科1年)が入賞しました。

【最優秀賞】KEEアドバンス賞
「学修支援に関する優秀な取組賞」

運動部学生に対する学修支援における先進的な取組事例を表彰運動部学生が部活動のみではなく、学業にも力を入れることによって、実りある学生生活を送ってもらい、希望する進路へ導けるよう支援することを目的とする取り組み(スポーツ振興室)

【入賞】ルーキー・オブ・ザ・イヤー

運動部新入生として他の規範となる活動をおこなった学生を表彰村山 謙さん(相模部 法学部現代社会法学科1年) ※学年は受賞当時



村山 謙さん



スポーツ振興室 内藤正和先生

TOPICS

06

組みました。初めての食材や精進料理ならではの調理法に戸惑う学生たちを、優しく丁寧にリードしてくださる作務衣姿のお坊さんたち。彼らとの交流を通して、学生たちは精進料理という食文化の背景や調理法、食事の作法などへの理解を深め、貴重な体験ができたようです。喫食の後には、いす坐禅により、心穏やかに禅の修行を終えました。この取り組みは、2024年度も継続します。



健康栄養学科1年生の「応用調理実習」では、世界各国の料理や日本料理の行事食など、幅広い調理法を学びます。2023年度には、初の試みとして「精進料理」に挑戦。全国曹洞宗青年会の皆さんが日進キャンパスに集結し、白衣姿の学生たちと共に調理に取り

日本の伝統食「精進料理」に 学生たちがチャレンジ！

TOPICS

05

令和5年度 第2回安全管理講習会を実施

3月12日(火)、日進キャンパス1201教室、けやきテラス3階にて、日進・名城公園両キャンパスのクラブ・サークルを対象に安全管理講習会を開催。上級生幹部約170名が参加しました。尾三消防本部日進消防署による「救命入門コース」の講習会では、基本的な心肺蘇生法の実技、AEDの使用法などを習得。また、社会連携センター田中淳子教授の講義では、学生の飲酒にまつわる法的責任について学びました。一人ひとりが危機管理意識を強く持ち、大学生として自覚ある行動を取ることを願います。



REPORT 後援会レポート

2024年度大学後援会総会を開催

5月12日(日)に大学後援会の総会が名城公園キャンパスにておこなわれました。総会では2023年度事業報告・決算報告に続き、2024年度新役員人事、事業計画案・予算案などが審議され、すべての議案が承認されました。総会后、学部別懇談会が開かれ174名の保護者の方にご参加いただきました。学部別懇談会では、学部長が各学部の特色や教育について説明し、参加者と懇談しました。また、9月～10月に開催する保護者懇談会にもぜひ参加ください。



学生4名に愛知学院大学後援会学生活動奨励金を支給

研究・スポーツ・文化芸術活動、ボランティア活動等において優秀な活動をおこなった学生・教職員の団体・個人に支給される愛知学院大学後援会学生活動奨励金。2023年度は下記4名が2月8日(木)の本部役員会でプレゼンテーションをおこない、奨励金としてそれぞれ10万円が支給されました。 ※学年はいずれも奨励金支給当時

渡辺 凌世さん(文学部 日本文化学科4年)

コロナ禍の令和4年1月より市民病院での外来患者サポートボランティアとして活動。また、中学生を対象としたオンライン学習システムを作り、子どもたちに無料で提供。

浦野 実咲さん(経営学部4年)

ゼミ活動として、商品企画コンテスト「Sカレ」で傘を自立させる装置「KASATATSU」を提案し、テーマ1位で商品化権を獲得。Sカレ総合優勝戦では販売実績、独自性などが評価され総合優勝。

村山 謙さん(法学部 現代社会法学科1年)

西日本学生相撲個人体重別選手権大会75キロ未満級優勝、全国学生相撲個人体重別選手権大会優勝。全国学生相撲選手権大会個人優秀32選手に選出。

吉村 唯さん(歯学部4年)

第127回日本解剖学会総会・全国学術集会の学生セッションで本学代表として発表。さらに、同学会第128回総会・全国学術集会の学生セッションでもポスター発表をおこない、優秀発表賞を受賞。



上段 中央左から 渡辺 凌世さん、浦野 実咲さん、村山 謙さん
下段 右 吉村 唯さん



2026年、愛知学院は 創立150周年を迎えます。

創立150周年宣言

Statement

知の共創、 地域との共生

～ともに創り、ともに生かし合う未来へ～

愛知学院は、2026年に創立150周年の節目を迎えるにあたり、次なる200周年を見据えたステートメントを策定。

この地域で150年間生かされてきた中で培ってきた「知」をさらに発展させ、社会や人々のために一層役立てていくことで、これからの新しい地域の未来を創り上げていきます。

知の共創

刻々と変化する時代や社会に対し、これまで以上に柔軟かつ広い視野で「教育」と「育成する人材像」を捉え直し、「オール愛知学院」で教育の未来と人材を共創していきます。

〈 時代に即した教育の未来と人材育成 〉

教育DXによる教育未来の
創造とDX人材の育成

「禪」の精神を生かしたGX
(Green Transformation)

地域との共生

人口構造が大きく変わっていく中、愛知学院の知的財産や輩出する人材の力で、地域課題や社会課題を解決し、共に豊かに生きていける「新しい共生社会」を実現していきます。

〈 地域とともに生きる 〉

リカレント教育の充実

地域課題の解決

多様性社会の実現

環境課題の解決

150周年スペシャルサイト OPEN

今後、さまざまな周年プロジェクトも実施予定です。
最新情報はスペシャルサイトで発信していきますので、ぜひご覧ください。

<https://150th.aichi-gakuin.jp/>

